

校長だより

10月号 北島南小学校 令和元年10月1日

今月号は「PBS」です。

聞きなれない言葉と思いますが、今年度から始めました、PBSについて説明します。

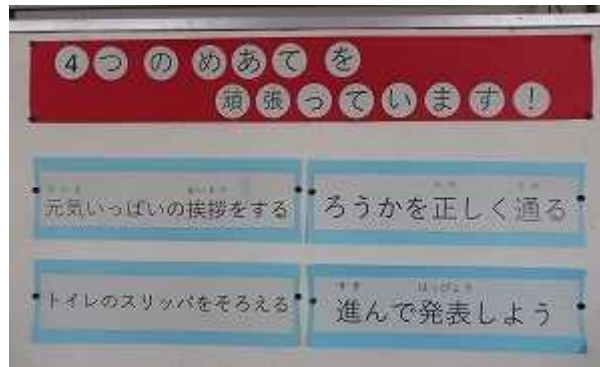
PBSとは、下の単語の頭文字を並べたものです。

P・・・Positive（肯定的） B・・・Behavior（行動） S・・・Support（支援）

PBSを端的にいうと、望ましい行動に注目し、褒める・認めるを繰り返すことで、望ましい行動を増やしていくことです。

本校では次の4つの行動に注目しました。

「元気いっぱいのあいさつをする」
「トイレのスリッパをそろえる」
「廊下を正しく通る」
「進んで発表する」



玄関の掲示物

これらの行動について、子供たちが頑張っていれば、褒めて承認していきます。ただ漠然と子供の行動を見ていても効果はありません。効果を高めるためには、いくつかの手立てが必要になってきます。

☆ 望ましい行動が起こりやすい環境をつくります。

例えば、あいさつは、6年生が玄関で元気いっぱいに毎日あいさつをしています。トイレのスリッパでは、スリッパを置く場所をテープで囲んで並べやすいようにしたり、毎日6年生がチェックをしてカードに表したりしています。廊下の通り方では、廊下の真ん中にテープを張り右側と左側の区別ができるようにし右側を通ることを意識させています。発表では、各学年や学級で違いはありますが、発表の回数をカードに記したり、全員が発表することを学級の目標にしたりして取り組んでいます。

☆ 子供のやる気を引き出す仕掛けをつくります。

毎日各学級の帰りの会で「今日のよいこと見つけ」といって、4つの行動などで頑張っていた子供を級友や担任が紹介しています。また、学級の中で頑張っている子供を学校全体でも紹介できるように、玄関の掲示板にも表示するようにし、朝会でも校長が名前を発表しています。



玄関の掲示物



校長による朝会での紹介

左の木は「きらりの木」と名付け、毎月2回、頑張った子供の名前の入った葉っぱが貼られていきます。今年度中に全校児童全員の葉っぱを貼りたいと考えています。

【葉っぱに書かれた内容】

- ・〇〇さん 笑顔いっぱいのあいさつができているね。
- ・〇〇さん いつもがんばってあいさつをしていますね。
- ・〇〇さん いつもトイレのスリッパをならべようと呼びかけてくれましたね。
- ・〇〇さん トイレのスリッパが4こもならべられたね。
- ・〇〇さん ろう下の右側をまっすぐ歩いてたね。すばらしい。
- ・〇〇さん ろう下の右側を静かに通っていました。
- ・〇〇さん 国語や算数の授業のとき発表をがんばっていました。
- ・〇〇さん 授業中いつも手をあげて進んで発表しているね。

☆ 褒め方を工夫して効果を高めます。

これまで校内研修を3回開いて、教職員はPBSの意義や仕組みについて学びました。特に子供への褒め方について共通理解を図りました。

- ・具体的に褒める（何を褒めたか明確に）
- ・すぐに褒める（即時にタイミングよく）
- ・褒める側の思いを伝える。
- ・子供同士、教師同士でできているところやよいところを見つけて認め合う。
- ・どの子にも、褒め、認められる機会を与える。



校内研修の様子

PBSによって、子供たちが褒められ承認を受ける経験を積み重ねることで、自己肯定感や自己有能感をもつようになり、自信をもって行動するようになります。子供たちが安心感や心の居場所を感じて生き生きと学校生活を送るよう、教職員一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。